

(表面より)

内でも実践的なセミナーは今後必要だと思っております。

かなり前向きな姿勢ですが、 そのお考えはどこから？

KITレーディングはG社のアベイルグローブバッグ製品2,000ケース以上を福岡に在庫して、お客様のニーズに合わせて1ケースから日本全国に常時発送できる体制をとっております。このため米国でアスベスト除去実績のあるG社のグローブバッグが必要な時にいつでも簡単に購入できます。何度も言うように、工事作業者がアスベストから隔離されて除去できる安全性とコスト削減ができるグローブバッグが日本にあるという安心感をエンドユーザーの皆様にご認知いただき、お役に立てるように頑張っております。それが当社の方針だし、使命だと思っております。

そのために企画中のセミナーの開催時には、現場サイドの方々にご大勢来ていただいて議論できたらありがたいです。その時は、グローブバッグの使用感や改良点など生の声を聞かせていただきたいものですね。他にも、ああして欲しいとかのご意見があれば、サンワ・リノテックさんの方まで、お知らせください。できる範囲で取り上げさせていただきますと思います。

業界の動向から

現役ライターからの寄稿

佐渡のアスベスト 暴露事故のまとめ。

アスベスト除去中に児童や教職員が粉じんに暴露した佐渡市両津小学校。これを受けて設置された同小学校アスベスト健康対策等専門委員会は、事故の原因を解明するため、社会面や技術面から事故を分析し、再発防止に関する提言をとりまとめた。

同事故を社会面から見ると、市民、行政、企業など地域コミュニティを構成する関係者の間で、アスベストの健康リスクについて十分な情報共有ができていなかったことを危険因子と見なした。また技術的な面から見ると、作業員の経験不足により区画養生テープが適切に貼られていなかったことを事故の有力な原因としている。

これらの分析を踏まえ同委員会は、アスベストの専門家を養成することや環境面で市民との情報共有を推進することなどを自治体の課題として位置付けた。さらに提言では、アスベスト対策工事の発注について、(仮称)アスベスト等有害物質対策工事のような発注工事種を追加することをはじめ、アスベスト対策のようにリスクの大きい公共工事に適した入札方式の検討、工事実績に重点を置いた業者選定なども課題として盛り込んでいる。

発行

作業現場の快適のために—
レンタル、販売から工事施工まで

Sanwa Renotech

サンワ・リノテック株式会社
www.sanwa-renotech.com

アスベスト サンワ で検索できます

〒551-0033 大阪市大正区北恩加島1丁目17番4号
TEL06(6551)0024 FAX06(6554)1057
東京営業所 〒170-0004 東京都豊島区北大塚3-5-18-401
TEL03(6411)0308 FAX03(6411)0309

(09.04.25T)

ハウ リツ

意外とアクティブな(!?)の世界

こんにちは。前回の瓦版から記事を書かせていただいています、ライト最例ハウスの島田です。前回の記事を見直すと、ちょっと文章が堅かったかも…?? というわけで、今回からはサンワさんのマスコットキャラ「りのべえ〜」(以下「り」)との対話方式にしちゃいます。そして、法律の世界をもっともっと身近に感じていただければ、と思います。

島「りのべえ〜、法律って意外とアクティブな世界なんだよ!」

り「えっ? アクティブってどういうことなん?」

島「新しい法律が次々できたり、今ある法律が
どんどん変わったり(=改正)するの。」

り「へえ〜、そんなにコロコロ変わるもんなんか…
知らなかったなあ。」

島「前に取り上げた『石綿救済法』だって、平成18年
に新しくできてから、もう3回も改正されてるって、知ってた?」

り「そんな全然知らなかったわ! そやかて新聞にも載ってないし、
ニュースでも言わへんやん。」

島「そうそう、法律は『官報』(=官公庁の新聞のようなもの)に
載った時点で、国民に伝えたこと(=知っていて当然!)になっ
ちゃうの。」

り「はあ〜! 官報なんて普通の人が読むわけないやん! 新聞に
でも載ったら読むかしらんけどなあ。」

島「だよな。だから知らない内に法律が変わってて、そのせいで
突然警察に捕まったり、行政指導が入ったり、なんてことも十分
有り得る話なんだ。」

り「まじかあ〜!? そんなとないしたらええねん!」

島「まあ今はネットでもある程度の情報は取れるけど、情報が全
部流れているとは限らないしね。だから一番確実なのは『六法』
を読めるようになることかな。」

り「六法!? そんなん弁護士や専門家の人にしか読まれへん
んとちゃうんかあ!?!」

島「それじゃあ法律の意味がないじゃない(笑)! 慣れればどう
てことないって。良かったら教えてあげるよ〜。でもそれは、また
今度ね!」

(つづく)

島田 恵理(ライト最例ハウス所属)

編集後記

今回のインタビューは、当社の提携先でもある伊藤社長にお願いしました。業界に貢献するという共通認識のもとに両社が手を携えてきた結果、おかげさまで取扱量も増えてきました。

事後報告ですが、米国のアトランタで開かれたレンタル協会の機械展示会の視察ついでに、グレーリングの本社を表敬訪問してきました。米国ではアスベスト除去工事はEPA(環境保護庁)-OSHA(労働省)の規則に準じた工法を習得して資格を持った者しかできません。その5日間の講習中に、グローブバッグの説明と実習が半日組み込まれてること。その講習の簡易版を米国商務省の後援で開催できるように提案してきました。実施が決まりましたら、この瓦版でご案内しますので、お楽しみください。

緊急告知 アスベスト除去工事に、全面体のファン式電動マスクの着用が義務付けられる!!

創刊号で触れてました全面体のファン式マスクの使用が法律(石綿障害予防規則 平成20年12月厚生労働省)の改正により、4月1日から義務化となりました。BL-700Hの確保を急いでおりますが、今後ご迷惑をおかけするかもわかりません。詳細は、当社営業へお問い合わせください。